

要 望 書

《 国 道 3 4 9 号 整 備 促 進 に つ い て 》

【平成30年8月】

国道349号建設促進期成同盟会
会 長 根 本 匠

国道３４９号の整備促進について

国道３４９号は、昭和５０年４月に国道へ昇格以来、漸次改良整備が進められ、着々とその成果が得られておりますことに感謝申し上げます。

国道３４９号は、茨城県水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約２６０km、沿線３県・１８市町村に及ぶ路線であります。その路程の多くが阿武隈山系等山間部を通過していることから、未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい箇所が残されており、国道としての機能を十分に発揮できておりません。また、沿線市町村の中心市街地等においても、大型車両をはじめとする通行量の増大によって、歩道等交通安全施設の未整備区間においては歩行者等が危険にさらされているなど、その実情は三頁以降に記載する整備促進要望箇所が示すとおりであり、地域住民よりそれら区間の一日も早い改良整備が強く求められております。

道路は、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で最も基本的な社会資本であることは言うまでもありません。

さらに、今、我々市町村にとって喫緊の課題である「人口減少克服」と「地方創生」を進め、国が目指す「一億総活躍社会」の実現には、道路整備は不可欠であります。

また、東日本大震災において「道路」は、支援物資の運搬、緊急車両の通行など「命をつなぐ道」としてその重要性が改めて認識され、震災を教訓に幹線道路のみならず、それを補完する道路を整備し、代替性・多重性のある道路ネットワークの構築が強く求められておりますが、正に国道３４９号はその機能を十分発揮できるものと期待するものであります。

つきましては、地域の安全・安心を確立するため、真に必要とされている道路を安定的かつ計画的に整備できるよう、下記事項について要望いたしますとともに、整備促進要望箇所として示した区間の改良整備について、特段のお力添えを賜いますよう要望いたします。

記

1. 道路整備における「事業の必要性」「費用対効果」の評価・判断にあたっては、地域の意見を十分に踏まえ、救急医療アクセスなど地域の実情を反映すること。
2. 安全で安心できる地域づくりのため、防災・減災に資する道路整備を推進すること。
3. 計画的な道路網の整備を推進できるよう、必要な財政措置を講じること。
また、長期安定的に道路整備・管理を進められるよう、新たな財源の創設を検討すること。
4. 道路やこれらに係る橋りょう、トンネル等の老朽化が進んでいる社会インフラについて、自治体の定めたメンテナンスサイクルなどに基づき、長寿命化対策等が確実に実施できるよう、維持管理・更新に係る安定的な予算を確保するとともに、人材育成（技術者の派遣等）や戦略的な技術開発など技術的支援を推進すること。

国 道 3 4 9 号 整 備 促 進 要 望 箇 所

県名	市町村名	要望番号	要 望 箇 所		事 業 内 容
			箇所名（地名）	延長 m	
宮城県	柴田町	1	白 幡 橋	168	橋 梁 整 備
	角田市	2	江 尻 ～ 小 坂 地 区	2,000	交 通 安 全 施 設 等 整 備 事 業
	丸森町	3	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	6,000	道 路 改 良
福島県	伊達市	4	梁川町五十沢字柴崎地内 ～沼ノ平地内	1,800	道 路 改 良
		5	梁 川 バ イ パ ス	1,290	道 路 改 築
		6	保原町二井田字八百地 ～十二丁目地内	3,100	道 路 改 良 (歩 道 整 備)
		7	保原町字赤橋～城ノ内地内	417	管 理 移 管
		8	御 代 田 1 工 区	1,120	道 路 改 築
	川俣町	9	大 綱 木 地 区	5,000	国 道 改 築
	二本松市	10	針 道 字 櫓 町 地 区	100	交 通 安 全 施 設 等 整 備
		11	戸 沢 字 六 角 地 区	400	道 路 改 良
		12	戸 沢 字 万 上 地 区	200	道 路 改 良
		13	杉 沢 字 馬 船 地 区	600	道 路 改 良
		14	杉 沢 字 宮 ノ 前 地 区	150	道 路 改 良
	田村市	15	船引町荒屋敷地内 ～軽井沢地内	2,000	道 路 改 良
		16	大越町牧野字笹ノ町地内	100	交 通 安 全 施 設 等 整 備 (歩 道 設 置)
	小野町	17	谷 津 作 地 区	550	歩 道 設 置

県名	市町村名	要望番号	要 望 箇 所		事 業 内 容
			箇所名（地名）	延長 m	
福島県	いわき市	18	三和町上三坂地区	100	交差点改良
	平田村 古殿町	19	平田村檜坂地区 ～古殿町山上字才木草	2,150	道路改良
	鮫川村	20	強 滝 地 区	400	道路改良
		21	滝 ノ 下 地 区	1,600	道路改良
		22	戸 草 ・ 大 竹 地 区	3,000	道路改良
	塙町	23	那 倉 地 区	1,200	道路改良
		24	南 田 代 地 区	2,400	道路改良
		25	片 貝 地 区	1,800	道路改良
	矢祭町	26	宝 坂 工 区 （ 宝 坂 ）	4,000	道路改良
		27	小 田 川 2 工 区 （ 宝 坂 ）	1,340	道路改良
		28	下 関 工 区 （小田川・下関河内・上関河内）	3,400	道路改良
茨城県	那珂市 常陸太田市	29	那珂市額田北郷～ 常陸太田市瑞龍町	6,900	道路改良

要望 番号	市町村名	宮 城 県 柴 田 町	
1	要望箇所	白 幡 橋	
		事業内容	橋 梁 整 備
		延長 (m)	1 6 8
		《現状と要望事項》 柴田町を縦走する一級河川「白石川」に架かる「白幡橋」は、国道 349 号を利用して角田市・丸森町、そして伊達市梁川町など福島県方面へ通じる重要な橋梁として年々通行車量が増大しており、さらに主要地方道白石・柴田線とも重複しているため、朝夕のラッシュ時には慢性的な交通渋滞が生じております。 宮城県においては、平成 20 年度に地覆、高欄、照明灯の交換及び歩道橋塗装補修工事を、平成 26 年度には耐震補強工事を実施するなど、長寿命化対策を講じているところではありますが、既に架橋（昭和 13 年）から 80 年が経過し、老朽化が著しい状況にあります。 つきましては、今後も通行量の増大が予想される「白幡橋」の安全を確保するためにも、早急に橋りょうの架け替えを図られるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	宮 城 県 角 田 市	
2	要望箇所	江 尻 ～ 小 坂 地 区	
		事 業 内 容	交通安全施設等整備
		延長 (m)	2, 0 0 0
		《現状と要望事項》 角田市江尻～小坂地区は、平成 11 年度より交通安全施設等整備事業が実施され、Ⅰ期工事（L＝1, 000m）が平成 21 年度に完了したところであります。 しかしながら本箇所は、一級河川「阿武隈川」の堤防の一部を国道として利用しており、また、両側にガードレールが設置されている箇所もあるため、近年の交通量の増大、特に大型車両の増加によって、歩道未整備区間では歩行者・自転車が非常に危険な状況にあります。 つきましては、Ⅱ期工事（L＝1, 000m）の早期完成とその先の歩道整備を図られるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	宮 城 県 丸 森 町	
3	要望箇所	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	6, 0 0 0
		《現状と要望事項》 丸森町大張川張～耕野区間は、福島県側へ通じる路線として「国道 4 号」や「東北自動車道」での大規模災害発生時や冬季間の凍結等による通行止めが発生した際の迂回路としての役割が大いに期待されております。 しかしながら、当区間は、幅員が狭隘でかつ屈曲が連続していることから接触事故が多発し、また、大型車両が対面交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならないなど、危険を伴う区間でもあります。さらに、阿武隈川の増水時には冠水による交通不能となる区間でもあります。 つきましては、期待される「国道 4 号」や「東北自動車道」の代替道路としての機能を果たせるよう、早急な改良整備についてお力添えを賜りたい。 また、防災・減災の面からの改良の検討を宮城県道路防災対策検討協議会（国道 349 号丸森町地区）で進められておりますので、当区間の速やかな道路改良の採択と併せ、国直轄権限代行事業による改良整備の早期実現に向け、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
4	要望箇所	梁川町五十沢字柴崎地内～沼ノ平地内	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	1, 8 0 0
		《現状と要望事項》 伊達市梁川町五十沢字柴崎地内～沼ノ平地内の区間は、生活道路として、また、福島県と宮城県南部を結ぶ重要な幹線道路である。 また、当区間は、阿武隈川の増水時には冠水によって通行不能となる箇所であり、幅員も狭隘で屈曲が続くため、対面交差ができず、一方が待避所まで後退しなければならないことから、円滑で安全な通行に支障をきたしている。 宮城県においては、国道 349 号丸森地区を対象に協議会が設置され、防災・安全に対する検討に着手されたところである。 つきましては、早期に改良整備が図られるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
5	要望箇所	梁 川 バ イ パ ス	
		事業内容	道 路 改 築
		延長 (m)	1, 2 9 0
		《現状と要望事項》 伊達市梁川町市街地を縦貫する本路線は、幅員が狭隘な上、交通量の増大等により朝夕のラッシュ時に限らず、日中においても交通渋滞が生じております。 現在、鋭意、バイパス工事が進められておりますが、工事等に伴う大型ダンプの往来が激しく、依然として危険な状態が続いております。 つきましては、梁川バイパスの早期完成に向け、引き続き特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
6	要望箇所	保原町二井田字八百地～十二丁目地内	
		事業内容	道 路 改 良 (歩道整備)
		延長 (m)	3, 1 0 0
		《現状と要望事項》 伊達市保原町二井田字八百地～十二丁目地区間は、2車線区間で交通量の多い区間ですが、車道並びに歩道の幅員が狭く、また、歩道未整備区間もあるため、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、全線に亘る両側歩道の整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福島県伊達市	
7	要望箇所	保原町字赤橋～城ノ内地内	
		事業内容	
		延長 (m)	417
		《現状と要望事項》 伊達市保原町字四丁目～赤橋地内の区間は、伊達市の中心市街地に位置し、自動車、歩行者及び自転車の通行量が大変多い区間ですが、道路家屋連坦地区のため、現道による改良整備が難しい区間です。 つきましては、保原町字赤橋～城ノ内地内への管理移管等による代替ルート確保につきまして、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
8	要望箇所	御代田 1 工区	
		事業内容	道 路 改 築
		延長 (m)	1, 1 2 0
		《現状と要望事項》 伊達市月舘町（御代田工区間）は、幅員が狭隘にして歩道も無く、特に大型車両が対面交差を行うためには一時停止を行わなければならないなど、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 特に、現在進められている御代田 1 工区の改良工事等に伴う大型ダンプの往来が激しく、さらに危険が増した状態が続いております。 つきましては、一日も早い御代田 1 工区の完成に向け、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 川 俣 町	
9	要望箇所	大 綱 木 地 区	
		事業内容	国 道 改 築
		延長 (m)	5, 0 0 0
		《現状と要望事項》 川俣町の仁井町～大綱木境木間は、幅員が狭 隘でカーブが連続しており、また、大型車両の 通行も多く、歩行者・車両ともに大変危険な状 況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよ う、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
10	要望箇所	針道字櫛町地区	
		事 業 内 容	交通安全施設等整備
		延長 (m)	1 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市針道字櫛町は、東和中学校、東和小学校、カントリーパークとうわへの市道及び針道の旧商店街への市道交差点が約 60m間にあり、右折する際に後続車の追突等の事故が懸念されるなど大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に右折レーン等交通安全施設等の整備が図られるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
11	要望箇所	戸沢字六角地区	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	4 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市戸沢字六角地区は、2車線で歩道も整備されている区間ではありますが、カーブで見通しが悪く、対向車同士の接触事故が多発しており、特に、冬期間は日当たりが悪いため、路面凍結によるスリップ事故也多発しており、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図られるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
12	要望箇所	戸沢字万上地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	2 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市戸沢字万上地区は、2車線で歩道も整備されている区間ではありますが、カーブで見通しが悪く、対向車同士の接触事故が多発しており、特に、冬季間は日当たりが悪いため路面が凍結し、自損事故等も多発しているなど、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
13	要望箇所	杉沢字馬船地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	6 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市杉沢字馬船地区は、屈曲した視距の悪い区間で、歩道も未整備である。 また、当区間は大型車の通行も多く、歩行者・車両とも大変危険な状況にあります。 つきましては、現在、改良工事の計画が進められておりますが、一日も早い完成に向け、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
14	要望箇所	杉沢字宮ノ前地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	1 5 0
		《現状と要望事項》 二本松市杉沢字宮ノ前地区は、屈曲した視距の悪い区間で、集落へ通ずるT字交差となっております。 さらに、当区間は通学路としても利用されており、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 田 村 市	
15	要望箇所	船引町荒屋敷地内～軽井沢地内	
		事業内容	道 路 改 良
		延長（m）	2，000
		《現状と要望事項》 田村市船引町門鹿字荒屋敷地内～新館字軽井沢地内は、幅員が狭隘にため大型車両との対面交差が困難な状況にあります。 さらに当区間は、歩道の整備がされておらず、特に、軽井沢地内の沿線には小学校があるため、通学中の児童が危険にさらされております。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 田 村 市	
16	要望箇所	大越町牧野字笹ノ町地区	
		事 業 内 容	交通安全施設等整備 (歩道設置)
		延長 (m)	1 0 0
		《現状と要望事項》 田村市大越町牧野字笹ノ町地区は、通学路でありながら、狭隘で車両防護柵もない歩道未設置箇所があり、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に歩道等交通安全施設等の整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 小 野 町	
17	要望箇所	谷 津 作 地 区	
		事 業 内 容	歩 道 設 置
		延長 (m)	5 5 0
		《現状と要望事項》 小野町谷津作地区は、近隣小・中学校の通学路として利用されているが、歩道が整備されていない区間があり、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に歩道が設置できるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 い わ き 市	
18	要望箇所	三和町上三坂地区	
		事業内容	交 差 点 改 良
		延長 (m)	1 0 0
		《現状と要望事項》 いわき市三和町上三坂地区にある交差点は、国際物流基幹ネットワークの対象路線である国道49号と交差しておりますが、その交差形状が悪く、国道349号から上り方面の国道49号への左折及び下り方面の国道49号から国道349号への右折において、大型車両の通行が非常に危険な状況にあります。 つきましては、早急に交差点の改良が図られるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 平 田 村 ・ 古 殿 町	
19	要望箇所	平田村北方字檜坂地区～古殿町山上字才木草地区	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	2, 1 5 0
		《現状と要望事項》 平田村北方字檜坂地区～古殿町山上字才木草地区は、幅員狭隘にして屈曲が続いており、また急勾配でもあるため、特に、大型車両との対面交差が困難な状況にあり、車両交差を行うためには、坂道で見通しの悪い状況下で一方が待避所等まで後退しなければならず、大変危険な状況にあります。 つきましては、現在、改良工事が進められておりますが、一日も早い完成に向け、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 鮫 川 村	
20	要望箇所	強 滝 地 区	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	4 0 0
		《現状と要望事項》 鮫川村西山字強滝地内は、一部は改良されておりますが、未改良区間は狭隘で急勾配、急カーブが連続しており、特に冬期間においては、路面凍結によるスリップ事故が多発するなど、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 塙 町	
23	要望箇所	那 倉 地 区	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	1, 2 0 0
		《現状と要望事項》 塙町那倉地区は、通学路及びバス路線となっておりますが、幅員狭隘にして屈曲が多いため、大型車両との交差が難しく歩行者・車両通行ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 塙 町	
24	要望箇所	南 田 代 地 区	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	2, 4 0 0
		《現状と要望事項》 塙町南田代地区は、幅員狭隘にして屈曲が多く、対面交差は普通車同士が限界であり、大型車両との交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、歩行者・車両通行ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 塙 町	
25	要望箇所	片 貝 地 区	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	1, 8 0 0
		《現状と要望事項》 塙町片貝地区は、幅員狭隘にして屈曲が多く、対面交差は普通車同士が限界であり、大型車両との交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 矢 祭 町	
26	要望箇所	宝坂工区（宝坂）	
		事業内容	道 路 改 良
		延長（m）	4, 0 0 0
		《現状と要望事項》 矢祭町宝坂工区は、通園・通学のバス路線となっておりますが、幅員が極めて狭く、また、急勾配のうえ、急カーブも多いため、車両通行が大変危険な状況にあります。 特に冬季の積雪時には、大型車両の立ち往生などが発生することもあり、沿線住民の生活にも支障が生じております。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 矢 祭 町	
27	要望箇所	小田川 2 工区 (宝坂)	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	1, 3 4 0
		《現状と要望事項》 矢祭町小田川 2 工区は、通学路、バス路線となっておりますが、人家が密接しているため幅員が極めて狭く、また、カーブも多いため、大型車両が交差を行うためには、一方が一旦停止しなければならず、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 また現在、当区間ではバイパス路線が暫定的に工事されておりますが、未だ未供用であります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 矢 祭 町	
28	要望箇所	下関工区（小田川・下関河内・上関河内地内）	
		事業内容	道 路 改 良
		延長（m）	3，400
		《現状と要望事項》 矢祭町を通る国道349号は、茨城県側の常磐自動車道那珂ICと福島県南部を結ぶ路線として、さらには福島空港や会津・県北地方の観光地へのアクセス道路として重要な路線であります。 特に、平成13年に茨城県側が全線整備されてからは、大型車両の通行が増加しておりますが、矢祭町下関工区は、大型車両同士の対面交差が難しく、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	茨城県那珂市・常陸太田市	
29	要望箇所	那珂市額田北郷～常陸太田市瑞龍町	
		事業内容	道路改良
		延長 (m)	6, 900
		《現状と要望事項》 那珂市杉～常陸太田市瑞龍町の区間 (L=10,400m) は、福島県及び茨城県北部から茨城県都である水戸市及び常磐自動車道那珂ICへのアクセス道路として重要な路線であります。 しかしながら、当区間は、暫定2車線区間のため、朝夕の通勤時や行楽シーズンには大渋滞を生じていたことから、鋭意4車線化工事が進められ、本年8月に那珂市額田北郷から幸久大橋を含む常陸太田市磯部町までの区間の供用開始が予定されています。 つきましては、一日も早い円滑な通行が可能となるよう、残る常陸太田市磯部町～瑞龍町区間の早期完成に向け、特段のお力添えを賜りたい。	



